

地域包括ケアの地区展開

令和6年度

梅丘

地区アセスメント

人口	面積 (k m ²)	人口 (人)	人口 密度 (人/k m ²)	高齢者 人口 (人)	高齢化 率(%)	年少人 口(人)	年少人 口率 (%)	世帯数 (世帯)	平均世 帯人数 (人)	高齢者がいる世帯数				高齢者がいる		介護保険		障害者手帳保持 者		障害サービス受 給者	
										高齢単 身者世 帯数	高齢者 のみ世 帯数	その他 高齢者 がいる 世帯	世帯率 (%)	内高齢 単身・ 高のみ 世帯率	認定者 数(人)	認定率 (%)	身体障 害者手 帳	愛の手 帳	自立支 援給付	障害児 通所給 付	
	1.604	28,518	17,779	5,837	20.47%	2,819	9.88%	16,555	1.72	4,285	1,979	1,079	1,227	25.88%	18.47%	1,302	22.31%	567	136	176	67
傾向																					
梅丘地区は、区内全体と比較して平均世帯人数が1.72(区平均1.84)と0.12ポイント低い、高齢化率が20.47%(区平均20.49%)と0.02%低い、年少人口率が9.88%(区平均11.34%)と1.46%低い傾向にある。 【人口(2024.1.1現在)】梅丘1丁目4,027人、梅丘2丁目3,350人、梅丘3丁目1,519人、豪徳寺1丁目4,187人、豪徳寺2丁目2,456人、代田1丁目3,860人、代田2丁目3,510人、代田3丁目5,505人 【高齢化率(2024.1.1現在)】梅丘1丁目21.41%、梅丘2丁目21.76%、梅丘3丁目20.93%、豪徳寺1丁目22.74%、豪徳寺2丁目25.29%、代田1丁目18.60%、代田2丁目20.31%、代田3丁目16.93% 【年少人口率(2024.1.1現在)】梅丘1丁目8.34%、梅丘2丁目10.48%、梅丘3丁目11.52%、豪徳寺1丁目8.34%、豪徳寺2丁目13.36%、代田1丁目10.73%、代田2丁目8.52%、代田3丁目10.59%																					
地域活動	町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数			社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポーター登録者数	生活支援体制整備事業協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数	主な活動団体とその取組内容										
			サロン	子育てサロン	ミニデイ						地区における様々な課題を発見し、各種関係団体との情報交換や特徴を共有しながら、その解決に向けて自発的に対応している主な団体、梅丘地区町会自治会連合会、梅丘地区身近なまちづくり推進協議会、青少年梅丘地区委員会、梅丘地区ごみ減量・リサイクル推進委員会、日赤奉仕団梅丘分団、梅丘地区社会福祉協議会、梅丘地区民生委員・児童委員協議会、四者連携会議出席メンバーなどが存在する。										
	6	11,182	19	19	0	0	2	26	55	6	3										
生活支援	地域密着型サービス							ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム	うち、特定施設入居者生活介護	障害者・児 通所系・共同生活介護等							
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム							すまいる梅丘(身体/生活介護)、障害者生活支援施設 梅ヶ丘(身体・知的・精神/生活介護)、CrazyCats(精神/就労継続支援B)、放課後等デイサービスメディキッズ梅ヶ丘(児童(重症心身障碍児))、梅丘ウッドペッカーの森(就労継続支援B)、にこにこ みやさか(障害者生活介護施設)、自立生活センターHANDS世田谷、ノテ梅丘(小規模多機能型居宅介護)							
	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1								
障害相談支援機関・相談支援事業所																					
地域障害者相談支援センターぱーときたざわ、保健センター専門相談課、東京リハビリテーションセンター世田谷、発達障害相談療育センター「げんき」																					
医療	医療機関、訪問看護等																				
	医療情報ネット「ナビイ」によると、梅丘地区内には、診療所に関しては梅丘15件、豪徳寺13件、代田7件あり、薬局に関しては順に6件、5件、4件の登録がある。一方、地区内には病院はなく、区内の救急医療機関としては北沢地域外に15件の救急医療機関が設置されている。また、夜間・休日の急病への対応として区の医師会、歯科医師会、薬剤師会も診療時間外の救急対応を行っている。訪問看護等のサービスは、当事者のニーズを把握したうえで近隣地区も踏まえた事業者情報を第三者評価等から収集し、適切な事業者選択に繋がるような形でサービスを提供している。																				

子ども・教育	児童館	代田南児童館
	その他、児童施設	子育てステーション梅丘、城山小新BOP、山崎小新BOP、ほっとスクール「城山」、代田小新BOP
	おでかけひろば	そらまめハウス、おでかけひろばcobaco、守山保育園おでかけひろばまもりん、おでかけひろばMani（マーニ）、おでかけひろば一空
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	区立山崎小学校、区立城山小学校、区立代沢小学校、区立代田小学校
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	区立世田谷中学校、区立富士中学校、区立梅丘中学校、国士舘中学校、鷗友学園女子中学校
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	国士舘高等学校、鷗友学園女子高等学校、国士舘大学、東京医療保健大学
	保育施設	【区立】豪徳寺保育園、守山保育園 【私立】春明保育園、梅丘なごみ保育園、あそびの森ゆう、あそびの森ゆう＋、キッズスマイル世田谷梅丘、豪徳寺ふくまねき保育園、世田谷代田仁慈保幼園、えんこういん幼稚園、代田幼稚園、青葉学園幼稚園
	子どもに関するその他の事項	池之上青少年交流センター「いけせい」、代田児童館、若林児童館、都立光明学園、子ども食堂なし
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	教育相談室、ほっとスクール「城山」、児童相談所、きたざわ子ども家庭支援センター、ほわわ花見堂（児童発達支援）、病児・病後児保育室下北沢ひよこ園、三茶おしごとカフェ、北沢ボランティアビューロー、ワークサポートせたがや、東京わかものハローワーク、ハローワーク渋谷、渋谷労働基準監督署	
公共施設	図書館	梅丘図書館（令和7年度開設予定）、経堂図書館、代田図書館、国士舘大学図書館公開利用、せたがやeカレッジ
	地区会館、区民集会所など	梅丘地区会館、花見堂地区会館、代田地区会館、宮坂区民センター、代田区民センター、羽根木公園スポーツ施設、梅丘中学校温水プール

住 まい ・ 環 境 ・ 防 災	主な公園・緑道・広場	とちのき公園、やまぼうし公園、オリーブ公園、世田谷城趾公園、北沢川緑道、梅丘北公園、豪徳寺稲荷下橋公園、すみれ公園、羽根木公園、羽根木プレーパーク、羽根木公園茶室「星辰堂」「日月庵」
	土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）	
	<p>区のほぼ中央に位置し、梅丘、豪徳寺、代田(1～3丁目)の3町からなる。南は世田谷地域に隣接し、当まちづくりセンターは区役所から700m程の距離に位置している。</p> <p>国立館大学・世田谷城趾公園・豪徳寺が大きな面積を占め環状七号線以外は大きな道路の少ない比較的環境に恵まれた住宅地である。隣接している羽根木公園や北沢川緑道・烏山川緑道は良い散歩コースで、世田谷城趾公園、豪徳寺、善性寺、齋田記念館、代田八幡神社などを含めると緑にも恵まれた地区である。</p>	
	交通の便に関する事項（鉄道・道路）	
	<p>南北には「鎌倉通り」「環7」「豪徳寺商店街通り～山下商店街通り」がある。東西には、淡島方面から梅ヶ丘駅に至るバス通り「梅丘通り」、環7から代田3・梅丘1・豪徳寺1丁目南端を通り、経堂本町通り商店街に抜ける「滝坂道」、豪徳寺2丁目の一部を通る「城山通り」がある。主な交通機関は小田急線（世田谷代田駅・梅ヶ丘駅・豪徳寺駅）と世田谷線（宮の坂駅・山下駅）である。平成29年1月からコミュニティバス（梅ヶ丘駅～等々力操車所）の運行が開始し、平成30年4月からバスの運行時間を拡大している。令和5年に実施した車座集会の中で等々力操車場から梅ヶ丘駅に向かう経路中のまちづくりセンター付近に停留所がないことへの是非について質問があったが、停車位置の確保や道路形状の問題から見送られたことが説明された。</p>	
産業に関する事項（買物・商店街などを含む）		
<p>梅ヶ丘駅周辺の梅丘商店街振興組合、豪徳寺駅南側の豪徳寺商店街振興組合、豪徳寺駅北側の山下商店街振興組合、梅丘通り沿いの代田一丁目商店会など8つの商店街がある。</p> <p>また、区が福祉のまちづくりを積極的に展開してきたこともあり、働く職場という視点で地域を見た場合、「うめとぴあ」、児童相談所をはじめ多くの福祉関係施設が集中している。なお、宮坂1丁目にはシルバー人材センター本部がある。</p>		
<p>防災 → 各地区の地区防災計画を参照</p>		

地区ビジョン

『地域で見守り支えあうまちづくり 梅丘』

地域の誰もが孤立せず、求めているときに必要な支援が受けられるよう、相談機関、地域団体、近隣住民が繋がり、相互に顔の見えるネットワーク（地域の絆）づくりを目指す。

課題、取組みの方向性

1. 高齢者・障害者・子どもなどの見守り

これまで地域で高齢者の見守りを進めるため「見守りあんしんシート」を作成、配布し、町会・自治会、商店街、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会等の関係機関が中心となって取組みを進めてきた。さらに令和5年度は子どもも含めた啓発物「見守り・気づきのポイント」を約1,300部作成し、関係各機関あて配布した。令和6年度は、子どもの見守りについて講演会を実施する予定である。

2. 地区防災・減災活動

地区内町会・自治会単位で防災訓練を行っている。また、地区内にある4か所の指定避難所（世田谷中学校、城山小学校、さくら花見堂、山崎小学校）の運営について、主に町会・自治会で構成される避難所運営委員会とともに訓練や検討を行っている。平成26年度より「発災後72時間は地区の力で乗り切る」をスローガンに掲げた「防災塾」を開催し、梅丘地区防災計画の策定など、地区内の防災力の向上を図っている。

3. 日常の困りごとや相談への対応

通常の困りごとや相談は、まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会、児童館といった各組織の職務に応じてそれぞれのネットワークも活かしながら適宜、情報を共有しつつ対応に当たっている。しかし、高齢者が子どもたちと交流したいという事例や、男性の介護者が他の男性介護者と交流や情報共有したいという事例、豪徳寺参拝を目的とした海外からの観光客によるポイ捨て等の問題行為などは、個別に配慮、調整しなければならない事項も多いため、引き続き丁寧でケースに応じた対応が求められるため、協力しつつ対応する。

地区課題解決の取組み

参加と協働の地域づくりの取組み内容

地区での暮らしに関する困りごと等の相談に関しては、まちづくりセンター、あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会の職務に応じた対応を引き続き継続するとともに、福祉関係の相談については、専門外のものについても丁寧に聞き取り適切な所管に繋げていく等の対応に努める。

次に、居場所づくり、多世代の交流に関しては、学校の長期休暇中の小学生の食について地区課題としてとらえ、昨年度より「みんなで一緒に食事会」を実施している。これは、四者連携事業として高齢者と小学生・中学生を対象とし、一緒に調理を行い、食事をし、世代を超えた交流の場として参加者の評価も高い事業であり、今年度以降も継続して実施していく。今後も様々な事業の参加者等から広くニーズを集め、地区課題解決に向けた事業の検討を継続していく。

地区防災力の向上に関しては、地域の意見を聞き取りながら避難所運営の機能を高める検討を進めてきた。今後は、予算の措置も受けながら災害体験・災害後の体験のある専門家のアドバイスや実践例についてレクチャーを受ける機会を増やし、現実味を持たせた検討、対応策の構築になるように質の向上を図りたい。加えて、各避難所における避難所運営の検討の中で「避難所運営委員の高齢化により、避難所運営が厳しくなりつつある」現状を踏まえて、PTA等の若い世代を取り込んでいく方策を考えるとともに、開設時には避難者も一緒に運営に携わってもらうためのルールづくり等、避難所運営委員と共に検討していく。